きりすとこどもえん　4月園だより

２０２０年度　年主題〈こころがみたされる〉

1･2歳児４月主題「はじめまして」

月のねがい

◎保育者の姿やことばを通して神さまと出会う
◎新しい環境や友だちに出会う
◎自分らしさを受け入れられ、安心して過ごす

3･4･5歳児３月主題　「神さまの愛に満たされて」

月のねがい

◎祈りや賛美、聖書のお話を通して、神さまとの、交わりを感じる
◎受け入れられていることを感じ、安心して過ごす
◎春の自然に触れながら遊ぶ
◎新しい環境に興味を持って関わる

今月の聖句　「わたしは よみがえりです。いのちです。」　ヨハネ 11:25

電池で動くおもちゃに慣れている子どもが、生まれて初めてカブトムシを飼いました。クワガタと違い、カブトムシは冬を越すことなく死んでしまいます。動かなくなったカブトムシを見て、その子が言いました。「パパ、電池代えて！」と。

人間のいのちも電池を交換するように、新しく出来たらどんなにいいでしょう。しかし、果たしてそうだろうか、とも思います。臓器移植手術を受けた方々は、その後万能なわけではありません。しばらくしたら、又、手術を受け、新しい臓器に交換しなければなりません。そのように、私たちの生物学的いのちには、どうしても限界があります。

けれども、私たちは物理的に生きているだけではなく、目に見えない部分、つまり、霊的、精神的部分にもいのちを持ちます。愛する者に先立たれても、その人の思い出は人々の心の中に残り続けます。肉体的に元気でも、霊的に死んだも同然の状態もあり得ます。逆に、肉体的には死ぬべき者でも、霊的に新しいいのちに生き続けることもある。そう信じる者は、まことに幸いな希望に生きることが出来ます。今年の4月12日、教会ではイースター（復活記念日）を迎えます。イースターはそのような希望があることを、私たちに思い起こさせてくれます。

イエス・キリストは、「わたしはよみがえりです。いのちです」と言いました。この聖書の言葉はまさにその霊的な新しいいのちを指し示すのです。

西之表基督教会　協力牧師　池田基宣

やさしくいってね
おかあさん　おこるとき
「やめてくださいね」って
やさしくいってね
そうすれば「はい」って
やさしくいうよ
ーじゃあ　そういうことにするからー
おかあさん
そういう「じゃあ」って
いっちゃいけないよ

6歳児（東京）

4月の行事予定

7日（火）	始園式（１号午前保育）
7日（火）	1号新入園児慣らし保育
～10日（金）	〃
8日（水）	田植え
１１日（土）	入園式・新年度クラス会
２２日（水）	弁当日
	交通安全教室

5月の行事予定

7日～15日	家庭訪問（３才以上）
8日（金）	誕生会（４・５月生）
16日（土）	親子遠足・父母会総会
21日（木）	弁当日
30日（土）	0・1誕生会（４・５月生）

ママがいるから勇気が持てる！

入園･進級おめでとうございます。

4月から新しいお友だちを迎え、朝の登園時には、新入園の子どもたちの泣き声でにぎやかになります。

見るもの、聞くもの、出会うもの、すべてが初めての子どもたちには、好奇心だけで突き進むこともありますが、ふと我に返って「不安」や「恐れ」を覚えるものです。

考えてみれば、生まれてからそう月日の経たない子どもたちです。初めての集団生活という環境の中で、冒険や挑戦をしていくエネルギーを得るには、お母さんの腕の中で安心感を蓄える時間が必要なのです。

充電がすむと、自分から勇気をもって新しいものや人との出会いに挑んでいきます。

新入園そして進級したお友だちも、それぞれに嬉しい半面、不安な表情も見せてくる新学期です。どうぞ、お家に帰ってから、「今日はこども園はどうだった?」とギュ～っと抱っこしてあげて下さい。子どもはお母さんから優しく充電してもらい、お母さんの方もきっとお子さんから愛しさの力をもらえると思います。

こども園の庭では、花や虫、風や太陽の光が子どもたちを遊びに誘います。新しいお友だちも、青帽子や黄色帽子のお兄ちゃんお姉ちゃんたちの楽しそうな遊び声を聞きながら、少しずつ心を動かし、好きな居場所や遊びを見つけてくれることでしょう。

園長

こころが満たされますように

花冷えの後には、春めいた日差しが白や赤に咲き誇るツツジに降り注いでいます。心地よい風に吹かれて、木々の緑や遊具が愛らしい子どもたちが来るのを楽しみにしているようです。ご入園、ご進級おめでとうございます。改めて続くご縁と新しいご縁に心から感謝し、子どもたちの健やかな育ちを共に願い、祈りを重ねていきたいと思います。

本園は幼児教育・保育の道標として、「キリスト教保育」を柱としております。本年度の年間主題として、**「こころが満たされる」**が示されました。日々のどのような関わりが子どもたちの心を満たすのか。それは「愛されている、大事にされているという実感」を持ち、「満足できる遊び」が担保されていることだと思います。本学園の建学の精神である「敬神愛人」「探求・感謝」には、人間形成の基礎を培うべく心を育てたいという願いが込められています。遠い将来の準備ではなく、幼いときにこそ経験しなければならないものがあるのではないでしょうか。子どもたちが自分で発見するモノや動植物たち。考えながら創り出していく遊びの数々。不思議だなと感じること。明日もまたやりたいという意欲や探究心を何よりも私たちは守らなければなりません。そのために、保護者の皆さんにも、許される範囲で楽しんで関わっていただきたいと願っています。子どもの育ちには、**「タイケン・タンケン・タイヘン」**が必要だと考えています。保育活動や行事で味わう様々な**体験（吸収）**。未知の世界へ興味・関心を寄せる**探検（探求）**。そして、少し**大変（克己）**なことにも挑戦する意欲。今年もこのキャッチフレーズでともに育ち会いたいと思います。

集団生活を初めて経験する子どもたちにとって、園生活は期待と不安の混じったものでしょう。初めての環境は大人でも緊張します。何より「だいじょうぶだよ！」という言葉が安心へと導きます。「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。」と聖書にあります。神さまが与えて下さるこの環境の中で、**こころが満たされて**喜べる生活を共に目指して参りたいと思います。子どもたちがあるがままの”自分”をしっかりと生きていけるよう祈りつつ、保護者の皆様と心を込めて寄り添っていきたいと考えております。

世の中は、連日新型コロナウイルスのニュースで溢れています。種子島ではまだ感染者が報告されていませんが、いつウィルスが運ばれて感染が広がるかもしれません。私たち一人一人が自分にも他者に対しても責任ある行動が求められています。国難ともいえる状況を国民全員で互いに協力しながら乗り越えて参りましょう。六十三年目を迎える本年度も、職員一同心を尽くして努力して参ります。何卒ご支援の程を宜しくお願いいたします。

学園長

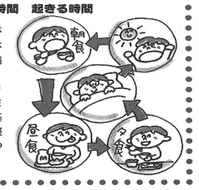
健康だより春　今シーズンの健康ポイント

生活リズムを整えましょう

生活リズム「5つの定点」

朝食の時間　昼食の時間　夕食の時間　寝る時間　起きる時間

５つの定点を急がず、ゆっくり方向づけることが子どもにとっては大切です。不規則になると、体内リズムが安定せず、朝からぼーっとしたり肥満の傾向が出てきたりしてしまいます。
夜は遅寝をせずに早く寝て、睡眠時間をバッチリとりましょう。そうすれば、自然に早起きできます。食事も３度の食事と１回の午後のおやつが基本です。生活リズムを整えると生体のリズムが整い、毎日元気に活動できます。間食を減らしてゆくこともできます。



朝ごはんは１日のエネルギー源！

「時間がない」「朝ごはんを食べる時間寝ていたい」
「朝ごはんを食べると太る」…。
こんな理由で朝ごはんを食べない子が増えています。
また、お母さん自身が朝ごはんを食べる習慣がないと、子どももおいしく朝ごはんを食べる習慣がつくれません。

朝ごはんは、朝起きて、体と頭を活動モードに切り替える大事なスイッチです。
朝ごはんは１日の元気のもと。バナナ１本・パン１枚からでもよいから始めましょう。
そうすると次第に食べる習慣がつきます。
内容は順次ステップアップ！